

2-5

受水市町との連携・強固な信頼関係の構築

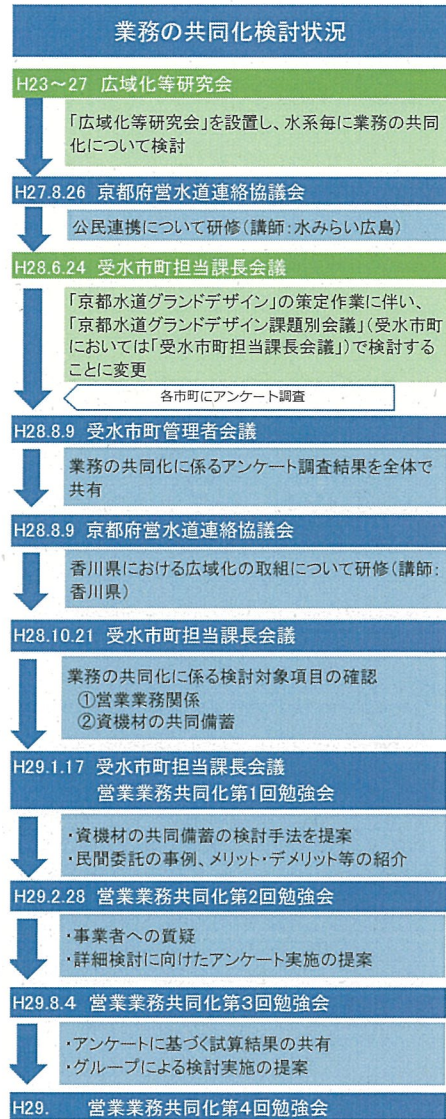
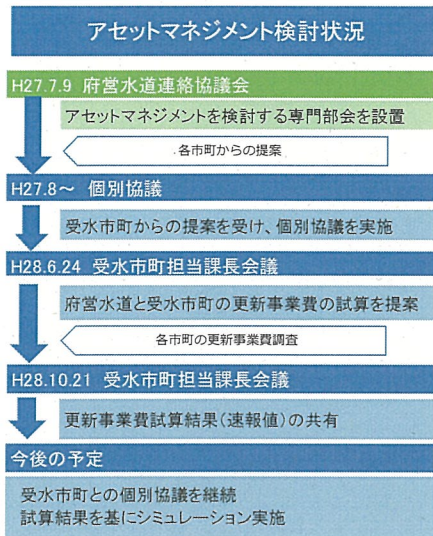
現状と課題

- ◇ 府営水道及び受水市町全体においては、水需要の減少等により給水収益が減少する一方で、老朽化等の更新投資への対応が急務となっています。また、採用抑制により水道技術職員が減少しており、災害対策や危機管理体制の確保、経験豊富な職員が退職した後の技術継承が課題となっています。
- ◇ 受水市町が水道事業者として安定した健全な経営を行うことが、府営水道の運営の基礎であり、上記の困難な課題に対しては、府営水道が中心となってまとめ役を担うことが必要です。
- ◇ 各受水市町の水道料金は、府営水道の受水費と自己水の経費を基に算定されています。各受水市町住民の水道料金負担の抑制を図るためには、府営水道と受水市町の双方が経費抑制や経営の合理化等に取り組むことが不可欠です。
- ◇ 受水市町住民に対する意識調査では、府営水道の認知度が約2割と非常に低い状況です。(資料2-5-③)
このことは、大きな事故等により注目を集めることもなく、安心・安全な事業運営を行ってきた結果とも考えられますが、府営水道が果たしている役割を広く府民に理解してもらうことも重要です。
- ◇ 今後のあり方として、資料2-5-④のとおり論点を抽出することができます。

受水市町との取組

- 運営基盤を強化するために、以下の取組を行います。
 - ◆ 府営水道と受水市町の施設全体の適正な規模や配置について、専門部会を設置して府営水道と受水市町が連携して取組を推進(資料2-5-①)
 - ◆ 経費の抑制や安心・安全な給水体制を確保するため、業務の共同化等の広域連携や広域化のメリット・デメリット等について、府営水道及び受水市町が連携して検討(資料2-5-①)
 - ◆ 府営水道と受水市町一体となった危機管理の取組強化(緊急用資機材等の共同備蓄、広域水運用の円滑化、水質管理等)
 - ◆ 人材育成や技術承継のため、府営水道及び各受水市町により構成された京都府営水道連絡協議会や、有識者・民間セクターの参画を得た「水循環プラットフォーム」(資料2-5-②)を活用し、職員を対象とした研修会等を実施
 - ◆ 受水市町との信頼関係を構築していくため、今後も受水市町管理者会議及び担当課長会議を定期的に開催し、府営水道の現状や課題等の情報共有や府営水道の運営に関する意見交換を実施
- 府営水道の安定給水体制を確保する取組等について、受水市町と協力をしながら、積極的に広報活動を展開し、府民の認知度向上を図ります。

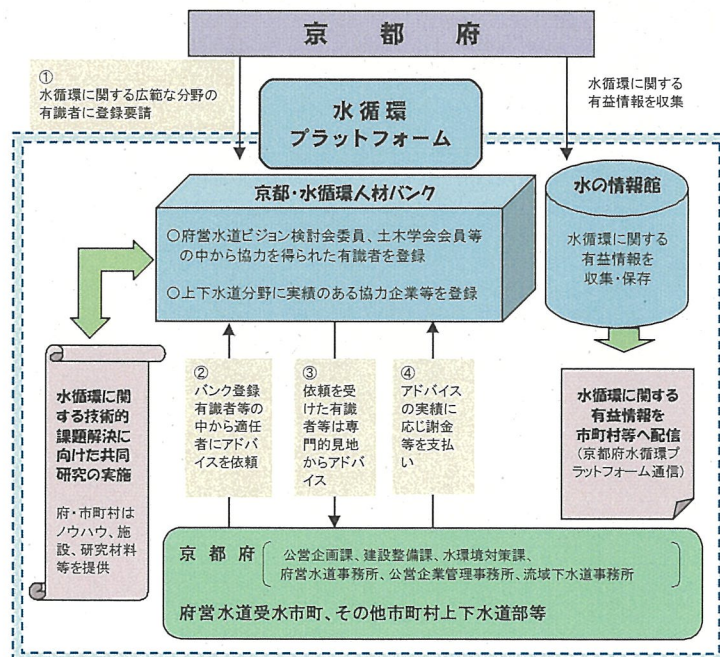
[資料2-5-① アセットマネジメント及び業務の共同化検討状況]



営業業務共同化勉強会



[資料2-5-② 水循環プラットフォーム]



府民意識調査の結果

◆ 府営水道の認知度がH24年調査よりも低下している

認知度： 31.3% (H24.7) → 21.9% (H28.12)

傾向

- 年代別：年齢層が高いほど認知度が高い
- 地域別：宇治系、木津系に比べて乙訓系での認知度が高い
- 市町別：全ての受水市町において認知度が低下

◆ 府営水道の安心安全への取組（3浄水場接続に伴う広域水運用により、災害時等でも相互バックアップが可能）が知られていない

- ・ まずは府営水道を知ってもらうための分かりやすい広報内容を検討
- ・ 受水市町への安定給水体制を確保する府営水道の取組等について、受水市町と協力しながら広報活動を展開
- ・ 費用対効果を考え戦略的に広報活動を実施

府営水道のこれまでの取組

- ・ ホームページに情報掲載
- ・ 啓発パンフレット
- ・ 小学生の社会見学
- ・ 浄水施設公開
- ・ 府主催の環境イベントにPRブースを出展
- ・ 大学での出前講義
- ・ 受水市町イベントや会議でのペットボトル配布

他の用水供給事業の取組事例

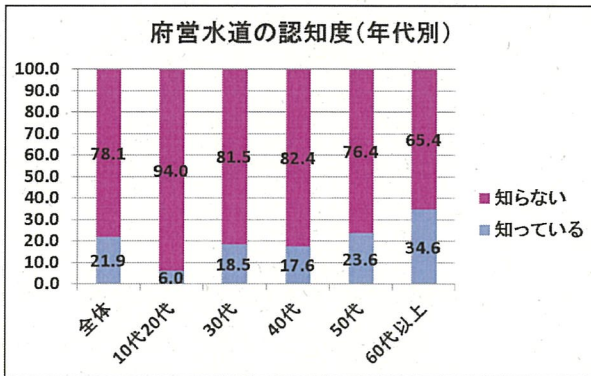
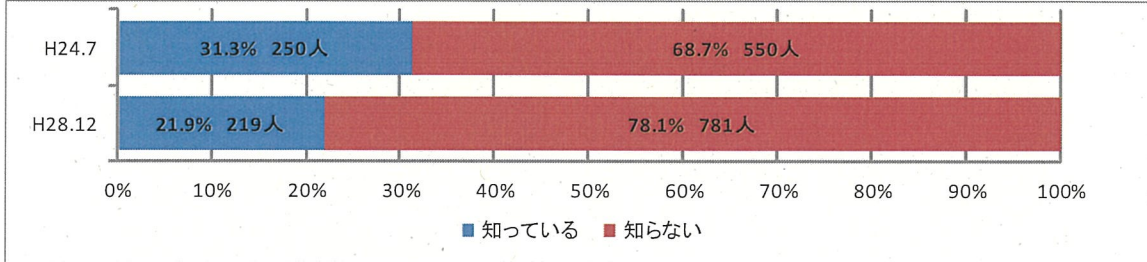
- ・ ホームページによるPR
- ・ 啓発パンフレット
- ・ 夏休み親子水道教室
- ・ 受水市町のイベントにてPR
- ・ ショッピングセンターで「利き水会」
- ・ 県政広報番組でのPR
- ・ 鉄道車両内広告



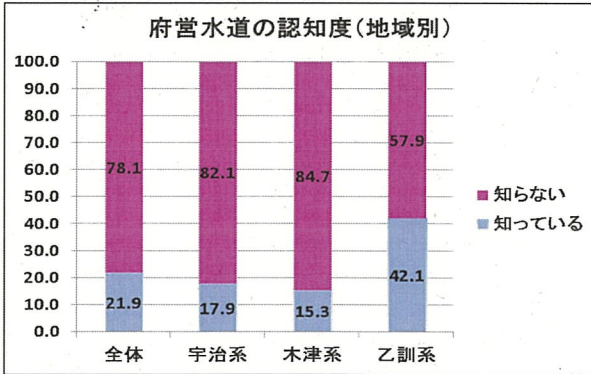
府営水道に関して

Q お住まいの市町に府営水道が水を供給していることを知っていますか。

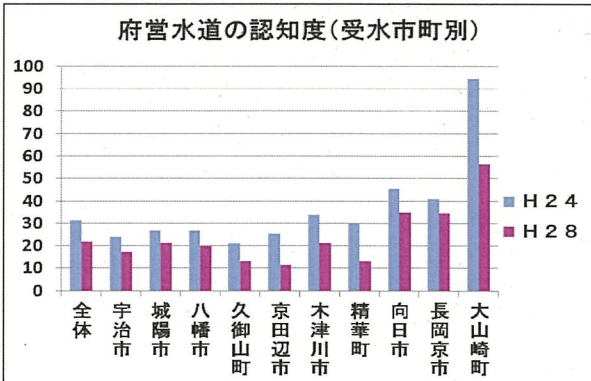
⇒ 府営水道の認知度が低下



年齢層が高いほど認知度が高い



宇治系、木津系に比べて乙訓系での認知度が高い

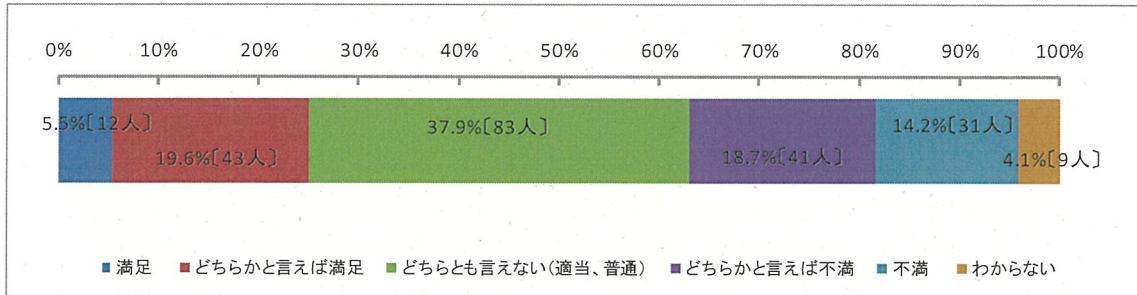


全ての受水市町において認知度が低下

Q 府の水道事業について総合的にどう思いますか。

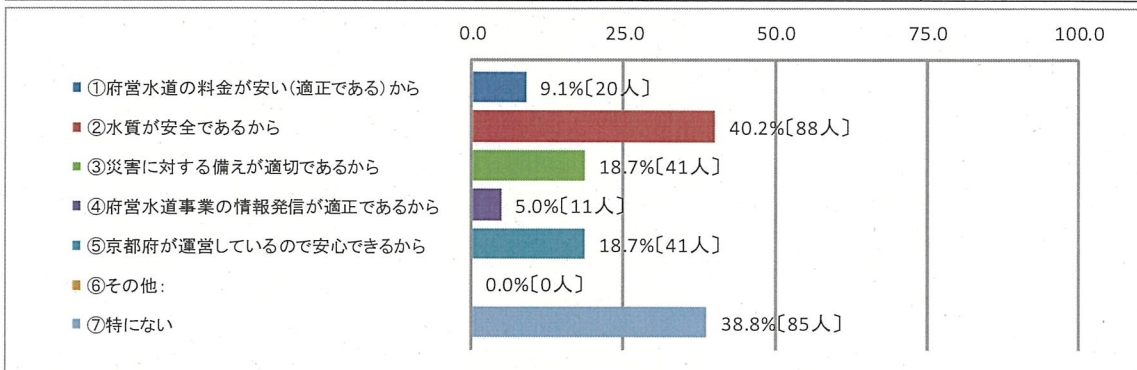
府営水道を知っている
219人への質問

⇒ 6割以上が不満を感じていない



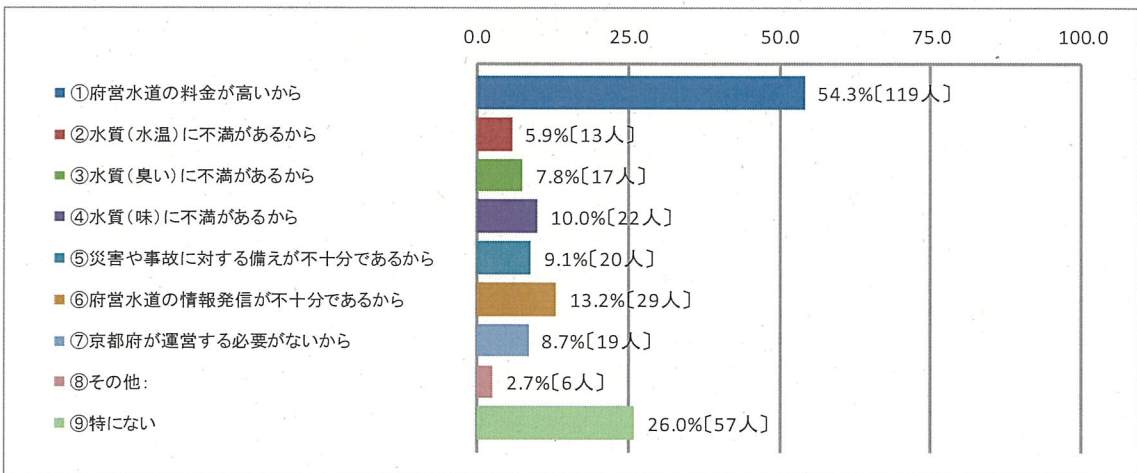
Q 府営水道について、どのような点が良いと思いますか。(いくつでも)

府営水道を知っている
219人への質問



Q 府営水道について、どのような点が不満であると感じていますか。(いくつでも)

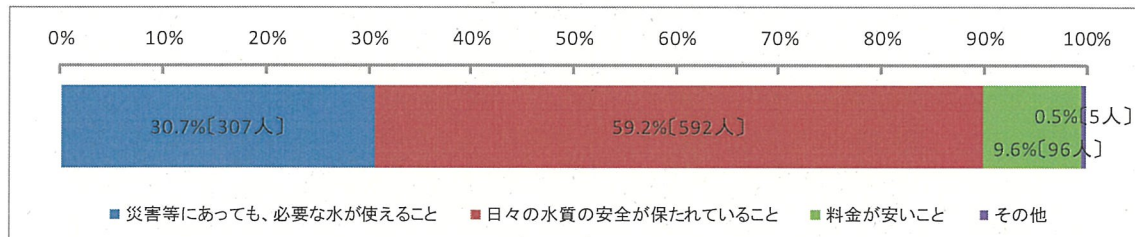
府営水道を知っている
219人への質問



今後の水道事業に関して

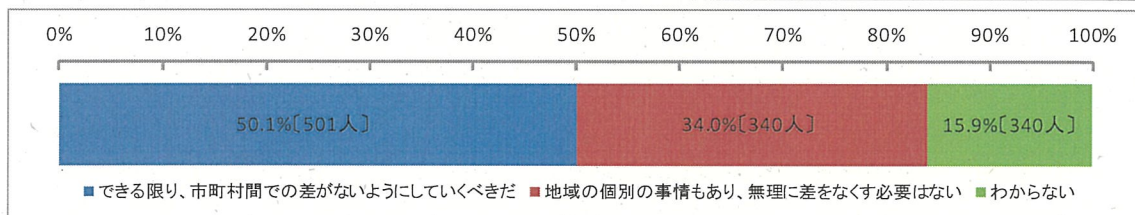
Q 今後の水道事業について一番大切であると考えられることは何ですか。

⇒ **安心・安全な水を災害時にも安定的に給水すること**



Q 今後、市町村間の水道料金の差をどうしていくことが望ましいと考えますか。

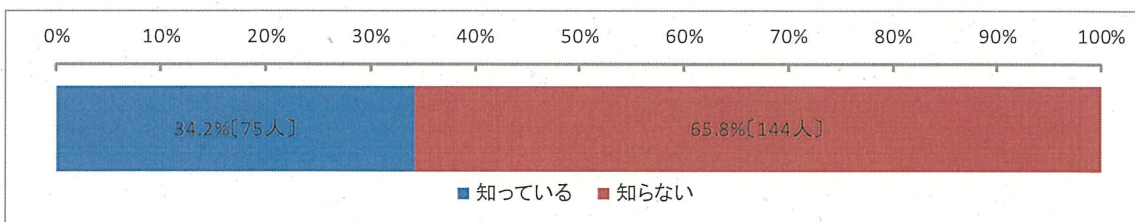
⇒ **「差をなくすべき」が過半数**



Q 府営水道では、宇治、木津、乙訓の3浄水場により給水を行っています。平成26年3月には、その3浄水場を送水管で接続する事業が完成したことで、浄水場間の相互バックアップができるようになり、災害・事故時等にも一層、安心して安全な給水が可能になりました。このような取り組みをご存じですか。

⇒ **府営水道の安心安全への取組が知られていない**

府営水道を知っている
219人への質問



【府民意識調査概要】

- ・調査概要 インターネットリサーチ会社に登録したモニターの回答を集計
- ・回答者 受水10市町の人口比に応じたモニター(1000人)

宇治市272人・城陽市112人・八幡市106人・久御山町23人
京田辺市105人・木津川市(旧木津町地域)108人・精華町53人
向日市80人・長岡京市118人・大山崎町23人